

## 授業科目 障害者福祉論Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	社会（介）
丸田秋男		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】					
障害者福祉論は、その歴史的展開と考え方の経緯等を正しく理解した上で、今日の障害の概念から障害者の実態、基本的理念、障害者保健福祉施設の現状を体系的に理解する。また、平成17年度には発達障害者支援法が施行され、更には、平成18年度からは障害者に共通の自立支援のための各種福祉サービスについて一元的に規定する「障害者自立支援法」が施行されることから、新たな障害者保健福祉との関係を総合的に学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
1. 障害者福祉の考え方とノーマライゼーションの理念の実現に向けた具体的な取り組みを理解する。					
2. 国際生活機能分類（ICF）の枠組みを基礎とした障害の概念と日本における法的定義を理解する。					
3. 今日的な法制度改革の動向を踏まえ、日本の障害者政策の現状と課題を理解する。					
4. 介護保険や保健・医療・雇用・就労支援・所得保障等と関連づけて総合的に学ぶことのできる幅広い視野を身につける。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	障害者福祉の考え方Ⅰ	障害者福祉の考え方を概括的に学ぶ。			講義
2	障害者福祉の考え方Ⅱ	ノーマライゼーションの理念の実現に向けた取り組みを学ぶ。			
3	障害の概念Ⅰ	国際生活機能分類（ICF）の枠組みとその内容について学ぶ。			
4	障害の概念Ⅱ	障害者の法的定義と手帳制度について学ぶ。			
5	障害者の実態	障害者の実態について学ぶ。			
6	障害者福祉の史的展開Ⅰ	障害者福祉の国際的動向について学ぶ。			
7	障害者福祉の史的展開Ⅱ	日本の障害者福祉の動向について学ぶ。			
8	障害者福祉の史的展開Ⅲ	基礎構造改革を中心とする近年の改革について学ぶ。			
9	障害者施策の現状Ⅰ	障害者基本法及び障害者計画の概要について学ぶ。			
10	障害者施策の現状Ⅱ	障害者施策の体系について学ぶ。			
11	障害者施策の現状Ⅲ	障害者福祉のサービス体系について学ぶ。			
12	障害者施策の課題Ⅰ	発達障害者支援法の概要と今後の課題について学ぶ。			
13	障害者施策の課題Ⅱ	障害者自立支援の概要と今後の課題について学ぶ。			
14	まとめ1				
15	まとめ2				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座 第14巻「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	最新版
参考書		社会福祉小六法2008	ミネルヴァ書房編集部	ミネルヴァ書房	2008・1,600円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
1. 出席2. 小テスト3. 期末試験を総合して評価する。		1. 介護福祉コースは別授業（コース単独）となる。（担当教員は、丸田秋男） 2. 社会福祉士及び介護福祉士を目指す学生にとって必須の専門科目であるので、目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んで欲しい。			